



目指せ、公認会計士!

～ 公認会計士試験にチャレンジしてみませんか ～



インターネットからの
出願が便利です



公認会計士とは

—“監査”及び“会計”の専門家

■公認会計士の使命

公認会計士は、国家試験である公認会計士試験に合格した者だけに与えられる資格であり、公認会計士法にその使命等が規定されています。

《公認会計士法第1条》

公認会計士は、監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活動、投資者及び債権者の保護等を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与することを使命とする。

■会計なくして経済なし

公認会計士は、グローバル化が急速に進む日本経済の健全な発展のために、監査人、コンサルタント、組織内会計士など、経済社会の様々な局面で、極めて重要な役割を果たすべく幅広く活躍しています。

MISSION

資本市場の番人として、企業等の財務情報の信頼性を確保し、投資家等を保護しています。

企業が作成する財務書類の検証



公認会計士

Certified Public Accountant (CPA)



PROFESSIONAL

監査・会計の専門家として、高度な専門知識を活かし、多様なニーズに応じて専門的な視点から助言・指導を行っています。

株式公開支援 / M&A / 組織再編

※このほか、税理士として登録を行うことにより、税務業務を行うことができます。

GLOBAL

金融・資本市場のグローバル化、企業の海外展開等に伴い、活動のフィールドは世界に広がっています。

**グローバル経営戦略の策定
海外子会社を含むグループ決算**

II

活躍する先輩からのメッセージ

近藤 薫さん

平成24年試験合格
監査法人勤務

大学卒業後フリーターをしていた頃、

社会に出るために何か資格を取らなければと思い、縁があって始めたのが公認会計士試験の勉強でした。理系出身で経営・会計についての基礎知識は全くありませんでしたが、「真面目にコツコツ」が実を結び、現在は監査法人のアドバイザリー部で働いています。

社会に出るためのツールとして取得した資格ですが、業務によっては多種多様な業種の人々と関わることができ、志次第であらゆるフィールドで活躍することに、面白味を感じています。また、女性として働き方の選択肢を幅広く持てることも、公認会計士という資格の魅力の一つだと思います。

浦山 太貴さん

平成23年試験合格
監査法人勤務

学生時代、プロとしての働き方に

漠然と憧れて、公認会計士を目指しました。会計の専門家として経営者から頼りにされる、という職業に興味を持ったためです。

私は新規上場業務 (IPO) を中心とした業務に携わっていますが、クライアントのCFO、監査役などから、会計に関する相談だけでなく、クライアント内部の人間関係に関する相談などもされるようになりました。信頼できる公認会計士として、頼りにされていることに喜びを覚えています。

公認会計士は若い頃より経営者と接することができる、非常に稀有で魅力的な職業だと思います。

大杉 泉さん

平成20年試験合格
スマホアプリ開発企業勤務

社会で働く身近な人を見ている中で、何か一生の武器になるものを身につけたいと思い、高校卒業後から公認会計士を目指すことにしました。

監査法人での勤務を経て、現在はベンチャー企業で取締役監査等委員として勤務しています。

会計や監査の知識・経験を生かし、取締役の業務執行を監査することが主な業務ですが、経営の意思決定という会社の根幹部分に関与できることにやりがいを感じています。

今は子育てをしながら仕事をしていますが、公認会計士が活躍できる領域は大変広いので、自身のライフステージに合わせた多様なキャリア選択ができることも魅力だと思います。

笹部 孝さん

平成20年試験合格
ヘルスケア企業勤務

将来、会社の経営に携わりたい

と考え、学生時代に公認会計士を志しました。

現在は、ヘルスケア企業に勤務し、事業経営を統括する部門にて、様々な投資判断はもちろん、ときにビジネスモデルを自ら作成し、事業の成長をサポートしています。組織再編等の複雑な業務においては会計の専門的な判断が求められます。また、会計のみならず、税務や経営学等の多様な視点での助言が求められることも多く、非常にやりがいを感じています。

様々な分野での活躍について大きな期待を寄せられますが、それと同時に経験できる業務が幅広いことも公認会計士の魅力の一つだと思います。

Ⅲ

公認会計士試験制度の概要

受験資格 受験資格の制限はありません。年齢、学歴等にかかわらず、**どなたでも受験できます。**

受験地 東京都、大阪府、北海道、宮城県、愛知県、石川県、広島県、香川県、熊本県、福岡県、沖縄県

公認会計士試験は、以下のとおり**短答式試験**と**論文式試験**が実施されます。

※試験科目の詳細については、公認会計士・監査審査会ウェブサイト「公認会計士試験 Q&A」を御覧ください。

試験 短答式

年2回（第Ⅰ回 12月上旬、第Ⅱ回 5月下旬）実施

試験科目 ■ 財務会計論 ■ 管理会計論 ■ 監査論 ■ 企業法

短答式試験合格

合格者は、翌年及び翌々年の2年間、短答式試験の免除を受けることができます。

論文式試験

年1回（8月中下旬）実施

試験科目

必須科目 ■ 会計学 ■ 監査論 ■ 企業法 ■ 租税法

選択科目 ■ 経営学 ■ 経済学 ■ 民法 ■ 統計学

（以上の4科目から1科目選択）

※論文式試験で不合格になった場合でも、公認会計士・監査審査会が相当と認める成績を得た科目については、翌年及び翌々年の2年間、当該科目の免除を受けることができます。

公認会計士試験合格

登録

2年以上の実務経験

業務補助 又は 実務従事

※試験合格の前後を問いません。

実務補習

公認会計士となるのに必要な技能を取得
（講習を受け、必要な単位を取得）

※日本公認会計士協会による修了審査を含みます。

(注) 実務経験

①業務補助 監査証明業務について公認会計士又は監査法人を補助

②実務従事 財務に関する監査、分析、その他の実務に従事

（実務従事に該当する業務の例：企業における経理、予算管理、原価計算、企業財務分析や財務コンサルタントなど。単純な経理事務等は除く。）

※実務経験についての詳細は、金融庁ウェブサイト「公認会計士の資格取得に関するQ&A」を御覧ください。

公認会計士

平成30年試験のスケジュール

（具体的な日程については、平成29年6月に公表予定）

		第Ⅰ回短答式試験	第Ⅱ回短答式試験
願書受付	書面	平成29年9月1日～9月15日	平成30年2月上旬～2月下旬
	インターネット	平成29年9月1日～9月21日	平成30年2月上旬～3月上旬
短答式試験		平成29年12月10日	平成30年5月下旬
短答式試験合格発表		平成30年1月中旬	平成30年6月下旬
論文式試験		平成30年8月下旬（3日間）	
論文式試験合格発表		平成30年11月中旬	

IV

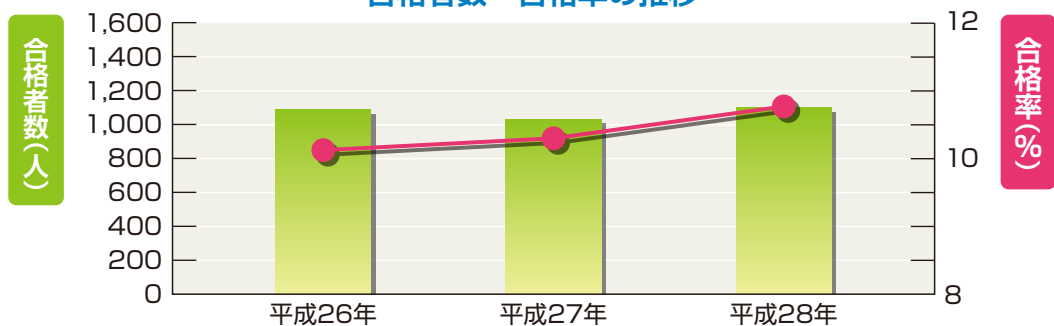
試験結果等の概要

年 別	願書提出者 (A) 人	論文式受験者 (B) 人	合格者 (C) 人	合格 率	
				(C) / (A)%	(C) / (B)%
平成26年	10,870	2,994	1,102	10.1	36.8
平成27年	10,180	3,086	1,051	10.3	34.1
平成28年	10,256	3,138	1,108	10.8	35.3

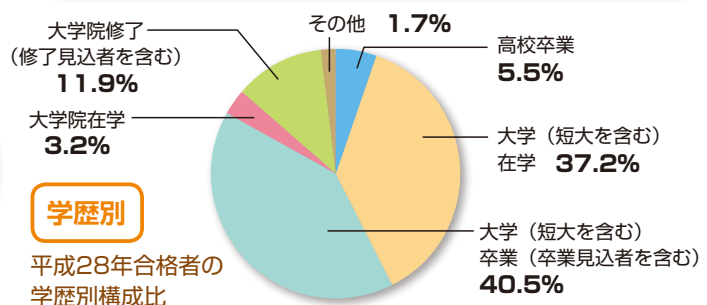
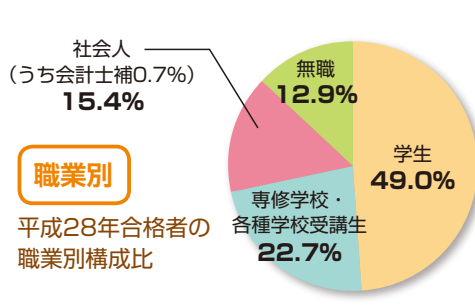
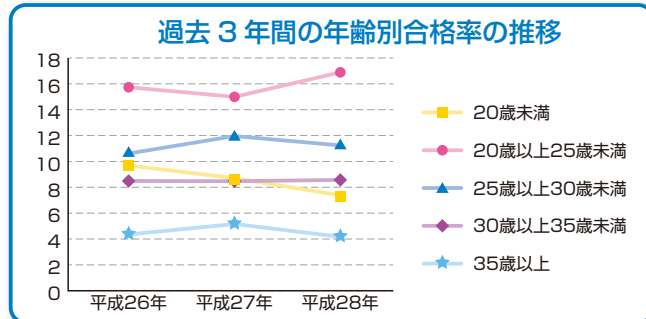
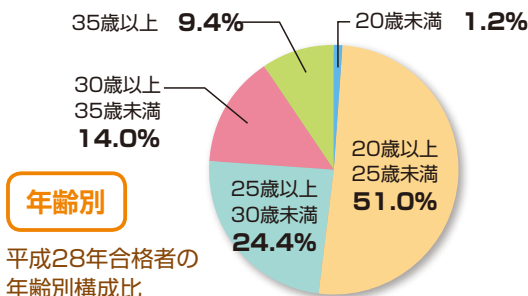
(注1) 平成28年の試験合格者中、最高年齢は67歳、最低年齢は19歳、平均年齢は26.2歳。

(注2) 願書提出者は、第I回回答式試験及び第II回回答式試験のいずれにも願書を提出した受験者を名寄せして集計したものです。

合格者数・合格率の推移



合格者データ



参考

実務補習生の就職・内定状況

提供：一般財団法人
会計教育研修機構

	平成26年度 (平成26年12月時点)		平成27年度 (平成27年12月時点)		平成28年度 (平成28年12月時点)	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
監査法人等	1,013	93.1%	941	90.6%	1,020	93.1%
一般会社等	46	4.2%	71	6.8%	64	5.8%
計	—	97.4%	—	97.4%	—	98.9%

(注1) 公認会計士試験合格者は、実務補習団体に入学して実務補習を受講し、公認会計士となるのに必要な技能を修得します。

なお、当該年度の公認会計士試験合格者全てが実務補習を受講するわけではありません。

(注2) 比率は実務補習生の就職・内定先の構成比です。

公認会計士試験 Q & A

Q

公認会計士・同試験合格者の活躍の場について教えてください。

A

経済社会のグローバル化、多様化、複雑化が進展する中で、監査・会計の専門家の果たす役割の重要性は増えています。従来、公認会計士・同試験合格者の大半は監査法人で仕事をしていたが、近年では経済界に幅広く進出し、監査法人だけではなく、コンサルティング会社、一般企業、税務業務、公務員等で活躍しています。

Q

一般の企業で働きながら受験することは難しいのでしょうか？

A

一般の企業に勤務する方でも受験しやすいように、短答式試験は年2回実施され、また、短答式試験合格による免除や論文式試験で一定の成績を得た科目についての免除(共に有効期間は2年間)の仕組みも導入されており、近年、社会人の受験者の割合は増加傾向にあります。

Q

公認会計士試験合格者に占める女性の割合を教えてください。

A

平成28年試験の合格者のうち、女性は236人、合格者に占める割合は21.3%となっています。公認会計士は、監査・会計の専門家としての強みを活かし、出産・育児を経験しながら幅広い分野で生涯働くことが可能な職業であり、女性の更なる進出・活躍が期待されています。

※公認会計士・監査審査会ウェブサイトにおいても試験に関するQ&Aを紹介しておりますので、そちらも御参照ください。

お問合せ先

公認会計士試験について

【全 国】	公認会計士・監査審査会 事務局 総務試験室	☎ 03-5251-7295	〒100-8905	東京都千代田区霞が関3-2-1 中央合同庁舎第7号館
【関 東】	関東財務局理財第1課	☎ 048-600-1117	〒330-9716	さいたま市中央区新都心1-1 さいたま新都心合同庁舎1号館
【近 畿】	近畿財務局理財第1課	☎ 06-6949-6366	〒540-8550	大阪市中央区大手前4-1-76
【北海道】	北海道財務局理財課	☎ 011-709-2311	〒060-8579	札幌市北区北8条西2
【東 北】	東北財務局理財課	☎ 022-263-1111	〒980-8436	仙台市青葉区本町3-3-1
【東 海】	東海財務局理財課	☎ 052-951-1790	〒460-8521	名古屋市中区三の丸3-3-1
【北 陸】	北陸財務局理財課	☎ 076-292-7851	〒921-8508	金沢市新神田4-3-10
【中 国】	中国財務局理財課	☎ 082-221-9221	〒730-8520	広島市中区上八丁堀6-30
【四 国】	四国財務局理財課	☎ 087-831-2131	〒760-8550	高松市中野町26-1
【九 州】	九州財務局理財課	☎ 096-353-6351	〒860-8585	熊本市西区春日2-10-1
	福岡財務支局理財課	☎ 092-411-5075	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東2-11-1
【沖 縄】	沖縄総合事務局理財課	☎ 098-866-0092	〒900-8530	那覇市おもろまち2-1-1

公認会計士制度について

金融庁総務企画局企業開示課 ☎ 03-3506-6000(代) 〒100-8967 東京都千代田区霞が関3-2-1
中央合同庁舎第7号館

ウェブサイト



公認会計士・監査審査会
Certified Public Accountants and Auditing Oversight Board

<http://www.fsa.go.jp/cpaaob/index.html>



<http://www.fsa.go.jp/index.html>